

1. 授業の概要(ねらい)

乳幼児期の経験は、これから生きていくための力を育む基礎となる。しかし、現代社会において保育には様々な課題が山積している。

本演習では、Iに引き続き遊びを通しての学び、幼児理解、こどもを取り巻く様々な環境などの中からテーマを選び、グループワークを行う。収集した資料を整理し、プレゼンテーションを行い、討議を通して更なる課題を探る。討議を通して新たな気付きが生まれる場となるよう、一人一人が刺激し合える関係作り、役割意識を持ちながら学習することを目指す。また、IIの終わりには個人としての課題のまとめを行う。

2. 授業の到達目標

- ①グループワーク グループの仲間と協力し、資料収集、討議を行うことができる。
- ②子どもを取り巻く環境について、自分の関心のあるテーマを絞り情報収集し、子どもを巡る課題を理解することができる。
- ③プレゼンテーション 自分の研究についてプレゼンテーションを行うことができる。
- ④自らの研究を他者に伝えることができ、意見交換を経て今後の課題を明らかにすることができる。

3. 成績評価の方法および基準

課題への取り組みの様子30%、プレゼンテーション内容とその様子40%、議論内容のまとめと1年間のまとめ30%を総合して評価する。

4. 教科書・参考文献

教科書

小田豊・中坪史典 編集・著

金澤妙子 編著 『幼児理解からはじまる 保育・幼児教育方法』

『保育内容 総論』 建帛社

参考文獻

文部科学省 厚生労働省内閣府・文部科学省・厚生労働省 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 チャイルド本社 他

5. 準備学修の内容

- ・課題についての資料収集、フィールドワークでの事例記録をすること
- ・グループのメンバーと協力して発表の準備を行うこと
- ・積極的に教材研究を行い記録にまとめること
- ・プレゼンテーションの準備を主体的に行うこと
- ・毎回演習終わりに課題を出すので、LMSにて提出すること

6. その他履修上の注意事項

演習であるため特に積極的な姿勢、追求する姿勢を望む。

5に記載されている準備学習の内容を、必ず毎週、予習、発表準備、記録を行い演習に参加すること。
一人一人が集団を構成するメンバーであることを意識し、責任を持って役割を担うこと。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | オリエンテーション (オンライン)
授業目的、授業方法、今後のスケジュール、成績評価について |
| 【第2回】 | 乳幼児を取り巻く今日的課題①
春期の学びから、夏休み中に収集した資料についての紹介 |
| 【第3回】 | 乳幼児を取り巻く今日的課題②
春期の学びから、夏休み中に収集した資料について考察の発表 |
| 【第4回】 | グループ編成と課題の設定
課題別グループ作りと討議 |
| 【第5回】 | グループワーク①
研究方法と役割決め、研究の進め方に関する討議 |
| 【第6回】 | グループワーク②
資料収集、フィールドワーク |
| 【第7回】 | グループワーク③
資料整理と発表に関する打ち合わせ |
| 【第8回】 | グループワーク
プレゼンテーション準備 |
| 【第9回】 | プレゼンテーションと討議①
幼児理解 |
| 【第10回】 | プレゼンテーションと討議②
子どもと遊び |
| 【第11回】 | プレゼンテーションと討議③
子どもと生活と環境 |
| 【第12回】 | 個人の研究に関するプレゼンテーションと討議①
乳幼児と遊び |
| 【第13回】 | 個人の研究に関するプレゼンテーションと討議②
子どもの生活と環境 |
| 【第14回】 | 個人の研究に関するプレゼンテーションと討議③
幼児理解 |

【第15回】 個人の研究に関するプレゼンテーションと討議④
保育園、幼稚園が抱える今日的な課題